



総会の様子



**神奈川大学  
フロンティアクラブ会報**

**第 41号**

発行日 2024年7月10日  
 編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ  
 組織・広報専門委員会  
 事務局 神奈川大学 総務部校友課内  
 〒221-8686  
 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1  
 TEL.045-481-5661(代)  
 FAX.045-481-2741



## 春原正三郎

フロンティアクラブ会長

元日に発生しました能登半島地震で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表します。また、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、早急に復旧、復興されますことをご祈念申し上げます。

# フロンティアクラブ総会を開催

さて、2月17日に開催された総会では、事業報告や決算報告、事業計画案、予算案が承認されました。役員改選では15人の運営委員が選任され、引き続き会長に春原と副会長に原柳作さん（昭和46英文、留任）、小林二三夫さん（昭和48貿、新任）、小菅貴春さん（平成9経、新任）の三役が就任しました。（別掲）

初代代表の神尾秀雄先輩から「開拓者精神を忘れず、慣習などにとらわれず、新しいことに取り組もう」と発せられたフロンティアクラブ設立の趣旨を再認識し、クラブ発展のため活動していく覚悟です。よろしくお願ひ申し上げます。

初就任時、活発化のために会員を200人以上にすることを目標に掲げました。多くの会員の皆さまから新会員の紹介もありましたが、残念ながら退会者もあり、目標まで数名のところまで来ております。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

クラブ活発化のために始めた春秋の箱根交流会は、会員相互の親睦を深めるものとして毎回

好評で、本年度も開催します。また、村橋フロンティア奨学金は今年度より、金額と受給生を増やして実施します（文系で50万円、理工系で60万円、総数10人）。引き続き奨学金募金へご協力をお願いします。

会員研鑽に役立つと評判のフロンティアサロンを開催や施設見学会、秋には留学生たちの思い出作りにと初の「BBQ会」も企画しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

会員の皆さまのますますのご健勝を祈念し、フロンティアクラブのさらなる発展にささやかながら尽力してまいります。



総会後の懇親会

2024年度 フロンティアクラブ運営委員

※企業名・役職は、定時総会時(2024.2.17)記載を含みます。

組織広報専門委員会

会長

委員

末吉 孝弘



株式会社パレスホテル  
事業部開発本部  
エグゼクティブオフィサー

委員長

相神 一裕



マクセル株式会社  
社外取締役

担当副会長

原 柳作



(元)株式会社  
神奈川新聞社 理事

春原 正三郎



(元) 共和証券株式会社  
取締役

産官学共同専門委員会

奨学金等協力専門委員会

担当副会長

小林 二三夫



(元) 横浜商科大学  
商学部 教授

委員

鈴木 忠



株式会社  
旭倉庫  
代表取締役会長

委員

小林 照夫



株式会社  
トータルソリューション  
代表取締役

担当副会長

小菅 貴春



株式会社  
小菅不動産  
代表取締役

委員

萩谷 紀之



郵船ロジスティクス  
株式会社  
複合輸送部  
シニアアドバイザー

委員

亀山 修一



ムラカワ株式会社  
東京支店 顧問

委員

伊藤 孝雄



株式会社  
エフケイ・ジャパン  
代表取締役社長

委員長

田原 清彦



(元) 株式会社  
近鉄エクスプレス  
グループ経営戦略本部  
執行役員

奨学金等協力専門委員会

新任  
委員



農協直売所  
(セレスモス)

内山 曜子

ボランティアとして地域災害に備える

1978(昭和53)年経済学部経済学科卒

運営委員会の一員に加えていただきました内山曜子です。神奈川県出身。卒業後、東京トヨベツトに就職しました。その後、婦人服メーカーの経理職に転職し、結婚後は読売新聞の集金業務の仕事をしております。

平成24年頃から自宅前の畑で農

組織広報専門委員会

新任  
委員



トヨタ自動車株式会社  
副社長

宮崎 洋一

お世話になった母校に恩返し

1986(昭和61)年経済学部貿易学科卒

主に、海外営業のエリアでキャリアを積み、現在は取締役副社長の任を担っております。多くの皆さまとの出会いとともに、「仲間の大切さ」と「考えることの重要性」を教えてくれた母校に、フロンティアクラブの活動を通じて、少しでも恩返しできれば嬉しく思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

この度、運営委員に選任いただきました宮崎洋一です。大学卒業後トヨタ自動車株式会社に入社。

組織広報専門委員会

新任  
委員



神奈川県新聞公正取引協議会  
事務局長

和知 親裕

母校に感謝

1988(昭和63)年経済学部貿易学科卒

1964年、横浜市南区で生まれ秦野市で育ちました。88年3月貿易学科卒、在学中は貿易商務論

の小林甫ゼミに、部活動はアーチエリー部に所属していました。いずれも特筆すべき成果はありません。ただ、楽しい学生生活を送り、かけがえのない知己を数多く得ることが出来ました。神奈川県に学んだからこそ、今の私があります。母校には感謝しかありません。さらなる発展に少しでもお役に立てるよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。

業を始め、農協直売所「セレスモス」に、主に切花を出荷しております。地域においては、消防署の外部団体である麻生消防ボランティア委員会の委員長に選任されました。この団体は、消防団員や婦人消防隊委員会などのOBやOGによって構成され、地震などによる大規模災害が発生した際、消防機関の行う活動に積極的に協力し、地域住民の安全確保を目的としています。

平成8年、王禅寺家庭婦人ポ

プ隊隊員となり、軽可搬ポンプの操法訓練に参加したことがきっかけとなり、OGとなった今でも防火協会ボランティア委員会に在籍しております。年々、高齢化などにより会員が減少していくのほども残念ですが、今年も消防訓練などを行い、地域で災害に備えて行きたいと思っております。母校神奈川大学のお役に立てるよう、微力ではございますが努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 目標へ前進 キーワードは「協働」



学校法人神奈川大学理事長  
石渡 卓

るところですが、さらに大学、附属学校、基盤整備における中期計画（2024-2028）を策定し、推進していくことで魅力ある学園を構築します。

フロンティアクラブの会員の一人でもある石渡でございます。日頃より、奨学金をはじめとした母校に対する温かいご支援、多大なるご協力を賜り、この場をお借りいたします。まして厚く御礼申し上げます。

本法人においては、100周年を目指し策定した将来構想実行計画（2018-2028）に基づき、キャンパス新総合計画を進め、よりよい教育環境整備に注力致してい

私は昨年9月23日に再度、理事長に就任いたしました。他大学の現状などに鑑み、本法人においてもガバナンスの強化が必要なことを実感しています。改正私立学校法の主旨に基づき、前理事会に引き継ぎ、理事などの研修実施や評議員に対する研修も予定しています。また、湘南ひらつかキャンパスの売却についても引き続き重点課題として取り組んで参ります。これまで

の間に、売却方針が決定され、地元住民との協議会を経て、要望等も纏まり一定の地ならしが出来ました。本年2月からは、売却に向けた優先交渉権事業者選定の手続きを進め、理事会において、優先交渉権事業者は神奈川県川崎競馬組合の「トレーニング・センター整備計画」に決定いたしました。今後、行政及び地域等との調整を進め、具体的に実装可能か確認していきます。

さまざまな課題に取り組みにあたり、今年のキーワードは「協働」を念頭においておられます。あらゆる立場・観点からの考え方や意見などにも耳を傾け、お互いの立場を理解し合いながら、丁寧に合意形成をすることで最善の方向と施策を打ち出し、認識を共有し、柔軟かつ着実に実行することが必要だと考えてい

ます。何事においても単体・単独では事を成しえませんが、偏ることなく可視化された管理体制の中で、適切かつ迅速に、将来構想実行計画（2018-2028）のもと中期計画（2024-2028）に基づき、進捗状況を確認しながら目標に向かって前進する所存です。

想定されていたよりもはるかに進んだ人口減少や不透明な経済情勢など目まぐるしいスピードでの変化により、大学を取り巻く環境は年々厳しさを増す中、一般の入試においては志願者数に大幅な減少が見られなかったことは幸いでありませんが、改革の足を止めることなく推進していきま

すので、引き続きのご支援・ご協力をいただければ幸いです。会員の皆さまのますますのご発展とご健勝を心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

# 「第二の改革」ソフト面の整備推進



神奈川大学学長  
おぐま まこと  
小熊 誠

など、「第一の改革」であるハード面の整備が一段落いたしました。

この3月には、20年度に開設した国際日本学部から、初めての卒業生を送り出しました。

した。そして、今年度からは、教育の自身そのものを見直す「第二の改革」である、ソフト面の整備を進めてまいります。

学長の小熊です。フロンティアクラブ会報第41号の刊行にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。フロンティアクラブの皆さまには、日頃より奨学金をはじめ本学の運営につきましても格別のご高配を賜り、神奈川大学の教職員および学生を代表し、厚く御礼申し上げます。

この「第二の改革」については、100周年に向けてこのたび新たに策定いたしました「神奈川大学中期実行計画」において、まずは学修者本位の教育への転換を図るため、「学修成果の可視化」に向けたシステムの導入や、

数理・データサイエンス・AI教育プログラムの拡充など、具体的な施策を明示し、着実に実行してまいります。

さまざまな課題が山積するいま、新しい社会に対応する力を養う教育が求められています。本学では、建学の精神を現代的に発展させ、「質実剛健」は、ゼミや卒業研究などの少人数教育という伝統を大切にしながら「アカデミックな教育・研究」とし、そして、「積極進取」は、開かれた大学として地域社会や企業とのさらなる交流を図り、そこで得た知見を豊富に取り入れた、体験型学習や課題解決型学習などの「ソーシヤルな教育・研究」ととらえなおしました。

この、「アカデミックな教育・研究」と「ソーシヤルな教育・研究」の両輪を動かすことで、「真の実学」の実現

をめざすとともに、4年後の100周年、そしてその先の未来にむけ、今後も改革の歩みを緩めることなくさらなる発展を目指す所存です。

そのためには、皆さまのご協力が不可欠です。

フロンティアクラブの皆さまにおかれましては、引き続き本学のさまざまな取組につきましてもご理解を賜り、また学生の就職活動におけるご協力、寄付講座の実施などにつきましても、変わらぬご支援をいただくと幸いです。

今後の貴クラブのより一層のご発展を祈念するとともに、会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、私からのごあいさつとさせていただきます。

さて、2020年度より着手してまいりましたキャンパスの開設や学部の新設、改編

フロンティアクラブ会員紹介



山田 正隆

1988(昭和63)年法学部法律学科卒

大好きな大学であり続けてほしい

岐阜県出身。嫁さんもスペイン語同期卒です。「私は神大が大好きです!」そんな自分に育ててくれたのはアイスホッケー部での4年間でした。

私は大学までスケートすらしたことが一度もありませんでした。初心者からの地獄のような練習(号泣)。それでも4年間の経験は私の人生の原点・指針になります。

した。

卒業後は米国の大学に留学。帰国後は警視庁から財団法人横浜YMCAを経て、未経験・未知の土地で農業をはじめました。以来、農業法人を立ち上げ30年が経ちました。全くの別世界で、ここまでこられたのはアイスホッケーでの一からの経験があったからです。「ありがとうございます!ありがとうございます!」

アイスホッケー!」

さて、話は変わりますが、数年前から神大は有名でない部のスポーツ推薦枠をなくしてしまいました。その結果、伝統ある多くの運動部がいまや廃部の危機に瀕しています。他大学の多くが推薦枠を強化する中、取り残されつつある母校を憂い、いま、複数の運動部OB有志が集まり、推薦枠復活と運動部の存続を大学に働きかけています。

「神大が大好きだ!」現役・未来の学生にとってもそんな大学であり続けてほしい。私に少しでも



谷間 広視

2007(平成17)年経営学部国際経営学科卒

トランクルームを運営

この度は神奈川大学フロンティアクラブに入会させていただきありがとうございます。

湘南ひらつかキャンパスで学生生活を送りました。軟式野球部に所属しており、広いキャンパス内には専用の野球グラウンドもあり、恵まれた環境で練習に励めました。また他の部活も専用グラウンドや体育館があり、練習環境が整っており、学生生活も盛んだったと記

憶しています。個人的には試合への出場は叶いませんでしたが、チームとしては東日本大会と全国大会の出場を勝ち取りました。その際は横浜キャンパスの応援指導部やチャリデーニング部、軟式野球部OB、学校関係者など多くの方の応援をいただき、支えてもらいました。同じ目標を持った仲間と4年間活動できたことは自分の財産となっています。

2015年から縁あって株式会社加瀬倉庫に入社しました。新横浜の不動産会社でトランクルームを全国展開している会社です。オーナー様からお預かりした土地を利用し、活用したトランクルームを運営し地域のみなさまにご利用いただいております。

22年より株式会社加瀬ホールディングスの代表取締役に就任しました。日々、会社としてどうあるべきか、どうするべきかを考え、社員の働き甲斐のある会社を目指しています。今後は同じ横浜を拠点する企業として、大学及びフロンティアク

できることがあればとフロンティアクラブに加入させていただきました。



農業生産法人株式会社福地ハイランズ代表取締役社長。岐阜県八百津町で減農薬米・発芽玄米・米麴甘酒などを生産販売。

ふるさと納税「山ちゃんのお米」

クラブ会員のみなさまとの繋がりを大切にしたいと思っております。ご指導のほどよろしく申し上げます。



株式会社加瀬ホールディングス。不動産活用を通じ「三方よし」の精神で社会と連動して貢献していきたいと考えております。

オーナー様、お客様のご要望に応え、社員のため、地域のために、加瀬グループの存在価値を高めてまいります。



瀧澤 延匡

2004(平成16)年法学部法律学科卒

## 中山間地域の活性化に取り組む

色々なご縁と出会いの中、この度はフロンティアクラブへ入会させて頂き誠にありがとうございます。1980(昭和55)年埼玉県生まれです。

高校までは剣道に励んでおりました。大学時代はただ鬱々と過ごす日々を送り、希望する業界へ入ることを目標に、大学へ通い授業を受ける日々でした。大学卒業後は希望する出版業界へ入ることが

できましたが、その後、新しい目標を見出し、群馬県上野村で働く道を選びました。

私の新しい目標は、衰退する地域に活力を取り戻し、人々が住みよい社会をつくるということでした。今は空前の移住ブームですが、17年前に私が移住した時、田舎へ移住するには高いハードルがあったような気がします。

上野村では、第3セクター株式



今成 寿夫

1989(平成元年)経済学部経済学科卒

## 「ありがとう シチュウライズ」

この度は、フロンティアクラブへ入会させて頂きありがとうございます。35年ほど前に新卒で入社した三洋証券在職中、現フロンティアクラブ会長の春原さんが支店長として着任され、その後、退職されてからは疎遠となっていました。が、フロンティアクラブの情報を耳にし、しかも会長が春原さんだとのことで、入会させて頂いた次第

です。

さて、大学での思い出は、群馬出身の山猿が、横浜での一人暮らしの生活にウキウキし、ミーハーのテニスサークルなのか、オリンピック代表を目指して体育会アーチェリー部なのかを迷ううち、男子先輩から「お腹空いてない？」と、学食2階の小さめの食堂で、シチュウライズをご馳走になってしまったのが、全てでした。ご馳

会社上野振興公社に勤務をしております。現在は常務取締役として

上野村にある宿泊施設や観光施設の運営に携わると共に、一般社団法人上野村産業情報センターの専務理事を兼務しています。上野村はバランスの良い事業を行っております。中でも観光事業と特産品の製造・販売事業はその中核を担います。観光客を誘客することで、

特産品を製造・販売し、上野村の経済を活性化し、雇用の安定を図り、そのご家族が上野村に定着をして頂くことまでが私の仕事です。今後はフロンティアクラブの皆さまから、さまざまな知見を頂き、

走になった後で、その先輩のサークル説明会に行くと、そこはテニスでもアーチェリーでもなく、部員20人が全部男子という学術連合・貿易研究部でした。

群馬県人は「義理人情に厚い」を痛感し、断れませんでした。しかし、貿易研究部の先輩のご縁で、栄光ある鈴木芳徳先生のゼミにも入れていただき、さらには自らが部長の時、6年ぶりに女子部員10人が入部してくれました。そのうちの一人が、人生の伴侶となっていることを結びの言葉とさせていただきます。「ありがとう シチュウライズ」

上野村を含む中山間地域がより良い地域になるように努力をして参ります。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



業介

株式会社上野振興公社は上野村の宿泊施設や観光施設を運営管理する事業を行っています。

また、上野村全体の観光誘客や物産販売も担うなど、「総合的な地域づくり会社」として社会に貢献する」を经营理念としています。

現在は、ご縁ある皆さまの笑顔を守るトータル・ライフ・コンサルタントとして日々取り組んでいます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



メットライフ生命保険株式会社に勤務。同社は米国

で100年超、日本でも50年超にわたり、お客さまの大切な資産を預かり、確実に守っていくとともに、人生に安心を届ける信頼のパートナーとして歩んでおります。

フロンティアサロン

フロンティアクラブ会員紹介

第135回フロンティアサロン

(2024/1/17 みなとみらいキャンパス開催)

**小売業におけるオムニチャネル、DX戦略の現状と課題**  
 講師：中見 真也氏  
 (神奈川大学 経営学部国際経営学科 准教授)

**講演内容** A f t e r コロナ禍に おいて、小売業は、従来のリアル型店舗中心の経営、マーケティングから、ECやスマートフォンにおけるアプリなどを活用した販売チャネルとコミュニケーションチャネルを統合し、シームレスな顧客体験をいかに構築するかに経営、マーケティングの軸足を移しつつあります。小売業のオムニチャネル、DX戦略の現状の課題について、論理的背景を踏まえ、具体的事例を交えながらお話ししていただきました。



西原 巧  
迷い続けた一生

1977(昭和52)年第二経済学部経済学科卒

神奈川県出身の西原巧です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。昭和48年の入学式での学長あいさつは、「この4年間で、自分の進む道を見つけてほしい」とのお言葉でした。その時期は進路が分からず、実家のすし屋を手伝いながら将来どうしたらよいか迷っていた頃でしたので、学長の言葉に接し自分の道を見つけようと勇気づけられました。

「カレッジサウンズ」のドラム募集のポスターに惹きつけられ「カレッジサウンズ」に入部しました。中学、高校とブラスバンドでパーカッションをやっていていたので、ジャズをやってみようと思っていたのです。その4か月後くらいに街の掲示板に、相模原市職員募集のポスターがあり、街づくりをやりたいという思いから地元で相模原市役所で働くことになりました。そのため残念なことに、半年くらいでバンドを退部しなければならなくなりました。働きながら大学に通うことができたのは、職場の仲間や上司の協力のおかげと、当

第136回フロンティアサロン

(2024/5/22 みなとみらいキャンパス開催)

**まちから世界へ。「藍」で染める、地場産業への挑戦**  
 講師：小沼 慶多氏  
 (2010年 人間科学科卒 藍染師・藍農家)

**講演内容** ジャパンブルーと世界の注目を集めた日本の藍産業は、明治初期に最盛期を迎えると同時に、化学染料の登場で一気に衰退しました。なぜ、この時代に藍を始めようと思ったのか。藍の新たな価値創造と地場産業への挑戦の活動や、藍の歴史、基礎的な染色の仕組みなど、実演を交えながらお話ししていただきました。

時のことを考えると、今でも非常に感謝しています。大学を卒業したら市役所は退職しようと思っていました。が、他の仕事へと何回も悩みましたが、正式に提出した辞表は1回のみ。上司や家族には大きな迷惑をかけた。結局60歳の定年まで勤め、最後の職場は議会議長秘書をしておりました。定年後は好き勝手に働こうと、友だちの不動産屋で修行。「宅建試験に合格したら独立しろ」とのアドバイスで、実績も少ない中で悩みに悩み、大それたことに独立。株式会社ニシコウポレーションを立ち上げ、現在8年目です。歳も歳なのでのんびり続けたいと考えています。今後も迷い続けていく人生かと

思います。皆さまと交流を続け、より豊かな人生にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

**業 介**  
 株式会社ニシコウポレーション。  
 土地売買の仲介、アパート管理や建築事務所の看板も立ち上げ、住宅の新築などのお手伝いも。現在6人体制。市役所時代の「みんなのために」の思いを継続。社員は市役所時代の仲間や後輩で経理の若い女性を除き、すべて役所OB。街づくりや建築、福祉、税金のエキスパートぞろいです。このため各種相談業務は得意分野です。



春の交流会

メンバー・天候・景色の三拍子揃い



プレー前の集合写真

ゴルフの会

4月19日(金)の箱根交流会は、参加者5組19名でPGM御殿場カントリークラブでのゴルフと箱根保養所(参加者25名)の懇親会で盛大に行われました。この寄稿は本来優勝の方や事務局の気まぐれ順位で書くことが多いのですが、今回は事務局で書いて欲しいと部下からのお願いがあり寄稿させていただきました。さて、2012年11月に会員間の交流イベントとして始まっ

た箱根交流会(ゴルフの会)も今回で23回を数えました。第1回から会の開催に携わっていましたが、悪天候による中止は1回のみ。今回も前日まで大雨が嘘のような好天に恵まれ、社会で成功を収められている皆さんの運気の強さを改めて感じました。

また、各ホールからは富士の霊峰を望むことができ、メンバー・天候・景色の三拍子揃ったゴルフに、参加者は日常を忘れ和気あいあいとした中でプレーを楽しんでいました。2024年5月 後藤 喜多郎

晴天の下、春の散策 たけのこ掘り堪能

山歩き・散策の会



竹林を背に集合写真

2024年4月19日(金)、フロンティアクラブ春の交流会「山歩き・散策の会」が開催されました。会員6名、事務局3名の合計9名の参加があり、晴天の下、茅ヶ崎里山公園内を散策しました。茅ヶ崎里山公園での散策は、新緑の季節ということもあり、青々とした木々に囲まれて清々しい気持ちで散策をすることができました。散策の後、里山公園内でのたけのこ掘りを行い、たくさんの大



公園内散策の様子

きなたけのこを収穫しました。フロンティアクラブでは、交流会の一環として、小林照夫さんの案内のもと、山歩き・散策の会を開催しております。会員の皆さまには次回のご参加を心よりお待ちしております。2024年5月 菊永 恒大

発刊記念プレゼント企画

英語で冊子「コロナ後の日本のチーズ市場」発刊

亀山 修一

フロンティアクラブ運営委員、1975(昭和50)年英文卒



神大卒業後、日本の食品専門商社に就職しました。入社8年目に縁があり、豪州酪農庁に移り、その後は豪州最大の乳業メーカー「マレー・ゴールバン社」(現サプート・デリー・オーストラリア社)に転職、計36年間外資に勤務しました。この経歴を基に3年前日本のチーズ市場に関する論文(冊子)を英語で発刊。その後状況が様変わりしましたので、そのアップデート版をこの度発刊しました(写真(B5版、78ページ))。

執筆に当たっては、フロンティアクラブの大先輩、小淵昌夫氏から紹介して頂いた神大国際経営研究所の田中教授の論文指導を受けるといふ幸運にも恵まれました。

なお、この冊子をご希望の方10名様にお送りします。希望者は、〒222-1868横浜市神奈川区六角橋3-27-1神奈川大学総務部校友課内、フロンティアクラブ事務局「プレゼント係」宛へ、はがきに住所とお名前を書いてお申し込みください。

パネル展

# 「神奈川大学創立の祖・米田吉盛展

～創立者の足跡と神奈川大学の歩み～

本学では、創立者米田吉盛の命日である5月17日を「吉盛忌」と命名し、米田の遺徳を偲ぶとともに、創立の精神を永続的に受け継ぎ、建学の礎をゆるぎないものとするため、米田が眠る横浜市日野公園墓地にて偲ぶ会を毎年執り行っています。

この機会に、2024年度は新たな試みとして、「教育は人を造るにあり」との理念のもと、29歳の若さで本学の前身である横浜学院を創立した米田の情熱や教育理念への理解を深める機会となるよう、主に本学学生や教職員、来校者を対象として、本学創立記念日である5月15日から1か月間、米田の生涯と本学の歩みをパネル資料でたどる展示企画を横浜・みなとみらい・中山の3キャンパスで行いました。(みなとみらいキャンパスは展示継続中)

ここでは誌面をお借りして、同展示内容から一部を抜粋・再編集してご紹介させていただきます。

学校法人神奈川大学 大学資料編纂室

生いたち  
修学時代-II

積 負  
極 実  
進 剛  
取 健

米田書

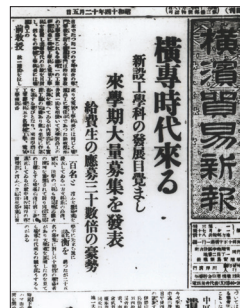
中央大学専門部法学科で学問を修め、また読書と思索を重ね、米田は「人生とは天分を開発して社会に貢献することにある」との思いを強くし、その実現のために「教育」への熱意をもつようになります。当時の社会状況は、治安維持法制定・社会諸運動の弾圧で混乱し不安定であったため、国家の中核となる「中正堅実」な青年の育成を志します。

生いたち  
修学時代-I



米田吉盛は、1898(明治31)年11月10日、愛媛県喜多郡満穂村(現 内子町) 論田に生まれました。吉盛が生まれて一年ほど両親が離婚し父も家を出たため、吉盛は祖母に育てられました。満穂南尋常小学校を卒業した吉盛は、自分一人で生きていくことを決意。まず京都の呉服屋で一年ほど丁稚奉公をし、その後台湾に渡り、労働経験をします。

## 総合専門学校への取り組み ～六角橋への移転～



さらなる学校の発展のために、米田は広い校地を探そうと、横浜市電(路面電車)が開通して間もない六角橋で横浜専門学校の誘致活動が行われ、1930(昭和5)年に移転することになりました。現在の横浜キャンパスの誕生で、移転が完了した5月15日を創立記念日と制定しました。法学科・高等商業科・貿易科が設けられ、学生たちは勉学や学生生活に一層励みました。1939(昭和14)年になると、工学三科(機械工学科・電気工学科・工業経営科)が開設されました。

## 神奈川大学の発展をめざして



発展をめざしてつく神奈川大学  
本館校舎から眺望(コンクリート校舎へ。(1962年))

神奈川大学は、当初「横浜大学」の名称で新制大学の設置をめざしました。しかし、横浜市内の他の専門学校も「横浜」の地名を用いた大学を設けたく、代表者による会談で決めることとなり、米田は学生からも提案のあった「神奈川大学」とすることを宣言。こうして誕生したのが、神奈川大学のほか横浜国立大学、横浜市立大学でした。米田は、戦後の厳しい状況のなか、教育の果たす役割と教育者の責任もまた重いという自覚のもと、ゼミナールの徹底、クラス担任制度、専門学校以来の実学教育をすすめていきました。

## 「神奈川大学」の誕生

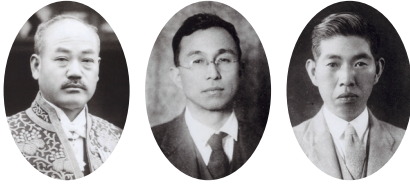


学長として挨拶をする米田「神奈川大学通信」創刊号

戦後、林校長の公職追放処分により、米田が横浜専門学校の第二代校長に選ばれました。そして1947(昭和22)年、新たな学制が定められると、横浜専門学校は新制大学への昇格をめざします。当初、横浜市内にあるいくつかの専門学校を合併・連合した「横浜総合大学」の構想も計画されましたが、横浜専門学校は結局、単独で新制大学に昇格することを決め、1949(昭和24)年、「神奈川大学」が誕生しました。米田は初代学長となります。



### 教育者への道 錚々たる顔ぶれの協力者たち



林 頼三郎      樋貝 詮三      太田 哲三

まだ若い米田の学校経営には、多くの協力者がいました。なかでも中央大学時代の恩師・林頼三郎や樋貝詮三、太田哲三はそれぞれ助言や物心両面、人材紹介などで米田を支え、林は横浜専門学校初代校長をつとめました。また、横浜の財界人たちも資金を援助しています。創立時の教員は、法律系が母校（中央大学）の教員と裁判官、商学系は東京商科大学（現 一橋大学）の教員が大半をつとめ、いずれも錚々たる顔ぶれでした。

### 教育者への道 地方試験制度と給費生制度の創設



各地から集まった新入生

誕生した横浜専門学校で導入された地方試験制度と給費生制度は、学校草創期から現在まで続く画期的な入学試験制度で、各地から多数の学生が集いました。地方試験制度は地方学生の受験にかかる負担を減らす、当時他の学校ではほとんど行われていない制度でした。給費生制度は、苦学した経験を持つ米田の発案で開始されたものです。返還不要の給費金、卒業後の進路も自由で、向学心のある多くの学生の注目を集めました。



1930年度 横浜専門学校学生募集ポスター

### 教育者への道 29歳にして横浜専門学校を創立



横浜学院を開設した松本会館（1928年撮影）

「教育」への思いを強くした米田は、周りの助言を得て横浜に専門学校をつくることにします。まず1928（昭和3）年、専門学校設立までの準備段階として現在の横浜市西区桜木町に「横浜学院」を開設。夜間部の法学科と商業経済科の2科が設置されました。そして同年12月、横浜市西区富士塚に移転し、翌1929（昭和4）年3月、専門学校令に基づく「横浜専門学校」の設置が認可され、神奈川大学の歴史は本格的なスタートを切りました。

## KU 神奈川大学

### 米田吉盛年譜

年	できごと
1898（明治31）	愛媛県喜多郡満穂村（現 内子町）に生まれる（11月10日）
1926（大正15）	中央大学専門部法学科卒業
1928（昭和3）	横浜学院開設
1942（昭和17）	衆議院議員（愛媛第一区）当選
1947（昭和22）	横浜専門学校校長に就任
1949（昭和24）	神奈川大学学長に就任
1951（昭和26）	学校法人神奈川大学理事長に就任
1969（昭和44）	勲二等旭日重光章受章
1978（昭和53）	神奈川大学名誉理事長に就任
1987（昭和62）	永眠（88歳）正四位追贈
1998（平成10）	生誕百年記念「墓前祭」・「懇ふ会」開催 命日（5月17日）を「吉盛忌」と命名



横浜キャンパスの米田吉盛像

### 政治家としての活動



愛媛県での選挙運動 米田と支援者

1942（昭和17）年、衆議院議員選挙が行われようとするなか、選挙に政府が介入することは公選精神に反すると考えた米田は、「非推薦」候補として愛媛で立候補、三位で当選を果たしました。その後米田は、新憲法下での最初の選挙で当選し、主に文教委員として活動しました。神奈川大学の充実を目指す一方、1955（昭和30）年の総選挙では神奈川県でトップ当選、厚生政務次官として活躍、次々回の総選挙でも当選し自民党政調会社会部長などで多忙を極めました。1963（昭和38）年、政界を引退し大学の経営に専念。その後、時代のうねりに翻弄されたこともあり、大学を後進に託しました。しかし、大学への思いは終生変わらず、1978（昭和53）年、神奈川大学名誉理事長に就任しました。

### 神奈川大学史展示室

横浜キャンパス3号館「ミュージアム commons」内にあり、「学校をつくる」「学生生活」「教育と研究」を柱としたテーマごとの展示、このほか創立者米田吉盛と学校設立の協力者を紹介する壁面展示と創立者の胸像、神奈川大学の年表が設置されています。

- 開室時間 10:00～17:00（入場無料）
- 閉室日 日曜日、祝日、授業のない期間の土曜日

※ただし、祝日・大学所定の休日であっても授業日は開室



当企画で展示した全パネル（19枚）については、右記にてご覧いただけます。



地魚を使用したお寿司



大学内とは思えない空間の鮨カウンター

大学内とは思えない空間の鮨カウンターで、地元神奈川の地魚をお寿司で提供します。

ご相談に応じて懐石料理なども提供可能ですので、会食などにご活用ください。

- 営業時間 平日・土曜  
ランチ：11:00～14:00 (ラストオーダー13:30)
- 定休日 水曜・日曜・祝日

# GRAND SUSHI

## 事務局からのお知らせ

### 会費納入について

年会費納入のお願いを5月下旬に発送いたしました。

金融機関からの自動引き落としの会員の皆さまにつきましては、6月26日(水)に振替いたしました。

### メールアドレスの収集について

フロンティアクラブ会員の皆様に大学の情報等をメールでいち早くお届けしたいと考えています。メールアドレスの収集にご協力をお願いいたします。

以下のメールアドレスに氏名をご記入の上、お送りください。

また、メールアドレスを変更された場合にも、お知らせいただきますようお願いいたします。

【メールアドレス】

kufc-frontier@kanagawa-u.ac.jp

### 2024年度神奈川大学フロンティアクラブ施設見学会について

2024年度神奈川大学フロンティアクラブ施設見学会を11月20日(水)に開催します。

今回はマリーヌルージュに乗船し、横浜港内クルーズの後バスに乗り、ふ頭施設の見学を行います。

見学後、桜木町駅近くにて懇親会を開催する予定です。詳細が決まり次第、会員の皆さまへご案内いたします。

### 異動職員のご紹介

2024年4月より校友課に異動してまいりました田島義政です。

学生時代は、本学の体育会水泳部のマネージャーとしており、2016年3月に経済学部経済学科を卒業いたしました。

現在の趣味は、横浜DeNAベイスターズの応援です！

なお、写真左が私で、右は以前校友課に所属していた渡辺信也さんです。

交流会やサロン等で皆さまにお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いたします。

